

Lead

All roads lead to the future リード



コミュニケーションペーパー
2012 Autumn 秋号 ¥0 TAKE FREE

のぞいてみよう高知大学の授業!!

〈教育学部〉まなびの時間

デザインする!

〈医学部〉充実の環境と設備が人を育てる

低侵襲手術教育・

トレーニングセンター

高知大学の名物行事「室戸貫歩」

高知大学ニュース

〈特集〉
「日本史」「世界史」に詳しくても「土佐史」を語る人は少ないのでは?
高知大学では、地方大学ならではの、身近で意外な歴史の掘りおしが進んでいます。

〈特集1〉長宗我部元親
〈特集2〉高知平野における古墳

意外!な土佐史



(香神社所蔵)「絹本着色長宗我部元親公画像」

香美市「大元神社古墳」での発掘風景
南国市「明見彦山1号墳」から出土した勾玉

高知大学で開催するイベントをご紹介します。

Event information 2012 Autumn 秋号

大学祭開催

朝倉キャンパス

黒潮祭

11/3 土 11/4 日

テーマは「絆」

笑顔、出会い、そしてこの祭で得たものをつないでいこう、という願いをこめました。来祭して下さる方、参加して下さる方、そして私たち委員を支えてくれる全ての人への感謝の気持ちを伝えられるような、賑やかで楽しい学祭にしたいと思っています。

時間 3日...10:00~19:00/4日...10:00~20:00
場所 高知大学朝倉キャンパス TEL.088-844-8150



物部キャンパス

物部キャンパス 一日公開

地域の特産物、農産物の販売や人気のトレーラー体験コーナーをはじめ、大学を身近に感じられる催しが一杯です。お誘い合わせの上、是非お越しください。

時間 9:00~15:00
場所 高知大学物部キャンパス TEL.088-864-5114



朝倉キャンパス

第3回

ホームカミングデー

11/3 土

今年で3回目を迎えるホームカミングデー。今年は講師に三浦朱門氏を迎え、記念講演を開催します。大学祭も同時開催していますので、是非お楽しみください。

時間 14:00~14:20 記念式典/14:20~15:20 記念講演
講師 三浦 朱門氏 旧制高知高等学校第21期生
演題 「高知について思い出すこと」
主催 国立大学法人高知大学・高知大学同窓会連合会
照会先 高知大学総務部総務課 TEL.088-844-8640.8116



当日は黒潮祭、物部キャンパス一日公開が同時開催されます。



2012年度 定期公演のお知らせ

みんなが練習を積んできた演奏会、日々制作に取り組んできた作品の展示など、学生の一生懸命を是非見に来てください。

・開催公演一覧

11/10 土

マンドリンクラブ
第53回高知大学マンドリンクラブ定期演奏会
時間 開演18:30
場所 県民文化ホール(オレンジ)

11/11 日

高知大学吹奏楽団
第30回高知大学吹奏楽団定期演奏会
時間 開場16:30/開演17:00
場所 高知市文化プラザかるぽーと 大ホール

11/25 日

高知大学交響楽団
第53回高知大学交響楽団定期演奏会
時間 開場13:30/開演14:00
場所 県民文化ホール(オレンジ)

11/27 火

第13回高知大学教育学部生涯教育課程芸術文化コース
2・3年生合同展覧会「芸文展」
時間 9:30~18:00(最終日のみ17:30まで)
場所 高知市文化プラザかるぽーと 7階市民ギャラリー第2展示室

12/1 土

邦楽部
高知大学邦楽部定期演奏会
時間 開演18:00
場所 県民文化ホール(グリーン)

12/8 土

奇術部 Trick or Treat
第12回マジシャンズパーティー
時間 開演18:00
場所 高知RKCホール

12/15 土

高知大学合唱団
第41回高知大学合唱団定期演奏会
時間 開演18:00
場所 高知県立美術館ホール

12/15 土

高知大学演劇研究会
第41回高知大学演劇研究会定期公演
時間 開演18:00(変更有)
場所 県民文化ホール(グリーン)

平成25年度
入試案内

推薦入試I

出願期間 平成24年 11/1(木)~5(月)

推薦入試II

出願期間 平成24年 11/1(木)~5(月) 医
平成25年 1/22(火)~24(木) 教・農・さきがけ

AO入試

出願期間 平成25年 1/22(火)~24(木) さきがけ

一般入試(前期日程・後期日程)

出願期間 平成25年 1/28(月)~2/6(水)

■大学案内・選抜要項等の資料をパソコン・携帯電話からテレメール請求できます。

インターネットの場合(携帯電話・パソコン)

<http://telemail.jp>

携帯電話・パソコンとも共有アドレスです。
(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)



お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



高知大学
Kochi University

高知大学広報戦略室
高知大学
<http://www.kochi-u.ac.jp/>

検索

TEL.088-844-8643
FAX.088-844-8033
〒780-8520 高知市曙町2-5-1
E-mail:kh13@kochi-u.ac.jp

長宗我部元親

猛将ではなく、腰の低い智略家だった？
戦国アニキ、元親の実像

猛々しい戦国武将から
かけ離れた人物像

近年、〃歴女〃をはじめとする戦国フアンの間で、「アニキ」と呼ばれて慕われている長宗我部元親。土佐が輩出した偉人として、坂本龍馬に次ぐほどの絶大な人気を誇っています。

「かねてから知られていた古文書や時々発見される古文書を綿密に読み込み、独自の解釈をする。これが歴史研究の醍醐味です。ただし、長宗我部氏は滅亡した大名なので、文書が非常に少ないのが残念」と津野倫明教授。長宗我部氏の研究をしている全国でもまれな研究者です。

津野先生が貴重な史料から導いた元親の実像は「いわゆる戦国大名のイメージとは随分違う」とのこと。四国統一に向かってひた走る姿から、気性の激しい武将だ

四国統一をなし得たかどうか、近年、疑問視する声もあるようです。

「伊予の河野氏は最後まで降伏しなかった、というのが現在では定説になっています。私の考えでは讃岐の虎丸城、阿波の土佐泊城も落とせていない。だから正確には統一ではなく、ほぼ統一というところでしょうね」



〈特集〉意外！な土佐史



長宗我部元親〈主要年表〉

- 1539年／元親、岡豊城に生まれる
- 1560年／初陣
- 1575年／土佐を統一
- 1585年／四国をほぼ制定
- 1585年／豊臣秀吉に降伏、土佐一国を拝領
- 1586年／豊後戸次川の合戦、長男・信親戦死
- 1590年／小田原攻め
- 1592年／文禄の役
- 1597年／慶長の役

- 6月 秀吉の下命により浦戸湾から豊後（現在の大分県）・佐賀関へ
- 7月 朝鮮半島釜山へ上陸、巨済島（こじえど）の海戦
- 8月 黄石山（ふあんそくさん）の戦い
- 10月 泗川（さちょん）倭城築城に尽力

- 1598年／日本へ帰国
- 1599年／京都伏見邸で没す

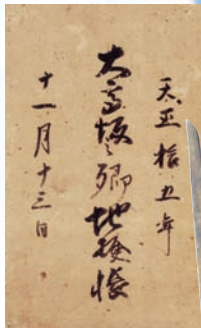


（秦神社所蔵）「絹本着色長宗我部元親公画像」

四国統一の真実 「領具足いちりょうそん」の謎

慎重で熟考するタイプだったと思われる元親。どういった戦略で、四国統一に向かったのでしょうか。

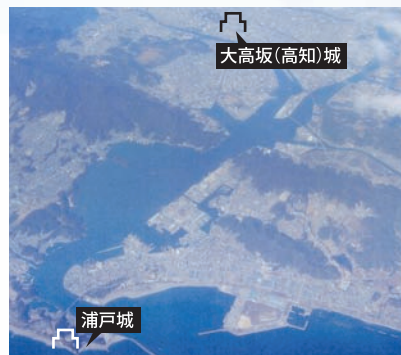
「一言でいうと、〃いけいけどんどん〃ではな



「長宗我部地檢帳」大高坂之郷地檢帳

統一に向かう元親を支えたのは一領具足、と広く信じられています。いつでも戦に馳せ参じられるように、農作業をする傍らに一領（ひとそらい）の具足（武器）を置いていた、勇猛果敢な半農半兵の兵士。しかし、津野先生は「それではまともな軍勢力にならないのでは」と首をかしげます。

「元親の時代、土佐は他国から攻められる側ではなかった。田んぼのそばに具足を用意しておく必要はないでしょう。一領具足の規定がある史料として著名な『長宗我部元親式目』が偽書だったことが判明し、「一領具足制度の存在は疑問視されるようになってい



かった。攻め込んで滅亡させるばかりではなく、同盟関係を結んだり、取り込んでいったり。外交的な戦略で勢力を拡大していったのが、元親のやり方です」



⑧ 韓国／泗川（サチョン）倭城天守台

「慶長の役」時の 長宗我部元親関係図

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 巨済島（コジエド） | ⑦ 羅州（ナジュ） |
| ② 黄石山（ファンソクサン） | ⑧ 泗川（サチョン） |
| ③ 全州（チョンジュ） | ⑨ 西生浦（ソセンポ） |
| ④ 珍山（チンサン） | ⑩ 蔚山（ウルサン） |
| ⑤ 井邑（チョンウプ） | ⑪ 見乃梁（キョンネリャン） |
| ⑥ 古阜（コブ） | |



日本海

土佐

浦戸湾

佐賀関

対馬

追究すればするほど、土佐の歴史の思いがけない事実が見えてくるようです。

研究者をとらえる 元親の魅力

元親に関してあまり知られていない事実の一つに、秀吉に降伏後、朝鮮出兵にも参加していたことがあげられます。しかも、長宗我部軍は「水軍」の役割を担っていたとか。

「四国の大名はみな水軍の働きができる、と秀吉は考えていたようです。当時の水軍は、もとは海賊だったのが大半でした。もちろん、長宗我部氏は海賊ではありませんが、それなりの水軍を抱えていたのではないのでしょうか」



⑨ 韓国／西生浦（ソセンポ）倭城

元親に関する 意外なエピソード

はまだまだあります。朝鮮では、現在高知県と深い交流のある全羅南道に侵攻していたこと、秦の始皇帝の末裔だと本気で信じていたらしいこと。小田原攻めにも水軍として参加したこと。

「土佐はあまり豊かな土地ではなかった。そういう国を根拠地にしながら、四国をほぼ統一したわけです。その原動力はいったい何だったのか…これを考えるのはとても面白いですね」

人気拔群の戦国アニキ、元親の真の姿を解き明かす！。これから大学で学ぼうとする若者にとって、とても魅力的なテーマではないでしょうか。

人文社会科学系
人文社会科学部門
教授

津野 倫明

プロフィール

高知県出身、北海道大学文学部卒業。博士（文学）。専門は日本中世から近世初期の政治史研究。全国でもほぼオンリーワンの長宗我部氏研究者で、卒業論文のテーマも長宗我部氏だった。ほかに慶長の役、豊臣政権と大名との仲介役なども研究。著書に『長宗我部氏の研究』（吉川弘文館）がある。



出版書籍

高知平野に おける 古墳

教科書にはない、
地元の歴史を発掘調査！
高知の知られざる古墳時代。

高知の古墳は
まだ研究途上

高知に古墳があるんですか？
という無知な質問に対して、「もちろんです。200以上もありますよ」と答えたのは、考古学を専門分野とする清家章教授。高知県内の古墳のことを最もよく知る研究者です。

古墳とは何ですか？という問いには「本当は半年ぐらいかけて講義することですけど」と、笑いながら説明してくれました。

「古墳は首長や豪族など、地域の有力者が権力を見せつけるためにつくった、マウンド（人工的な丘）のあるお墓です。古墳を代表する前方後円墳が出てきて消えるまでの、西暦250年から短く考えれば600年ぐらいまで。長く見積もると、奈良時代が始まる710年までを古墳時代と呼びます」

「当然すぐにはできないので、現場で教えながら進めます。実際の発掘作業については、土の色と質を見ながら、掘ってもいい部分、掘ってはいけない部分を見極めながら掘っていきます」

夏は暑く、冬は寒いなか、地道な作業を続けるのはけっこう辛いとか。しかし、最後には大きな充実感が待っているといいます。

「土器や首飾りでも出てきたら、学生たちがワー！と大騒ぎ。みな感激して、疲れなんて吹き飛びます。一度経験してみないと、この楽しさはわからないでしょうね」



資料館での出土品を使った講義

古墳からわかる
さまざまなこと

清家先生はこれまでに、南国市の明見彦山1号墳や高知市の朝倉古墳ほか、多くの古墳を調査してきました。

「土器などの副葬品、古墳の形



香美市「大元神社古墳」での発掘作業



高知市「朝倉古墳」、古墳内での発掘作業



遺跡から出土した土器の見学

高知県の古墳についてはこれまでにあまり研究者がいなかったこともあり、まだ解明されていない点も多々あるとか。

「古墳時代前半につくられた遺跡は、ほんのわずかしかなかった

ん。古墳時代の終わり近くのもの、高知市から東の平野部に多くあります。前方後円墳はまったくなく、土饅頭のように見える円墳が大半です」

辛いけど、楽しい！
真夏と真冬の古墳発掘

いる近くにある小山も古墳なのかも……？



南国市「定林寺芝1号墳」での測量風景



香美市「小倉山古墳」、古墳内での実地調査

清家先生の授業では、実際に古墳の調査も行っています。出土した副葬品を大切に持ち、はけで慎重に土を払う…なんてシーンが思い浮かびますが、「ああいうのは最後の数日ぐらい」だとか。

まずは大学の実習室で、図面をひく練習や測量の勉強などをみっちり行います。そのうえで、夏休みや冬休みなどの長い休暇時、いよいよ現場へ。しかし、すぐに発掘作業はしないで、等高線を引くなどの測量を綿密に行うそうです。



人文社会科学系
人文社会学部門
教授

せい け あきら
清家 章

プロフィール

大阪府出身、大阪大学卒業。博士（文学）。専門は日本考古学、骨考古学。通った中学のすぐ近くに300m級の前方後円墳があった。古墳調査のプロで、著書に『古墳時代の埋葬原理と親族構造』（大阪大学出版会）がある。

「高知県の弥生時代から古墳時代の歴史を書きしるしたい」と話します。

「歴史はわからないことだらけ。教科書にのっているのは、その時代の平均的なことか中央のことだけ。高知についてはほとんど載っていない。地元には地元の誇るべき歴史と文化があります。その息吹を伝えたい」

高知の古墳に関しては、未知な部分がたくさんある

とのこと。清家先生が高知大学に来て10年。これから、まだまだ多くの発見をしていくことでしょう。



地域貢献も、ゼミの活動の柱です。前述のかかしもそのひとつ。本山町農業公社から田んぼアートのデザインを依頼されたことがきっかけで、地元小学生に向けたかかしづくりの

デザインで地域に活力を

「正解」はありません。考え、動いて、最善を目指す。それはデザインも「緒で、まさに答えはありません。評価するとすれば、作品にオリジナリティーがあるかどうか。机の前に座っているだけではできないような経験は、デザイン力を磨くことにもつながります。経験というものは、何ひとつ無駄にはならないと思います」

「正解」はありません。考え、動いて、最善を目指す。それはデザインも「緒で、まさに答えはありません。評価するとすれば、作品にオリジナリティーがあるかどうか。机の前に座っているだけではできないような経験は、デザイン力を磨くことにもつながります。経験というものは、何ひとつ無駄にはならないと思います」

デザインゼミに

「土佐天空の芸術祭 田んぼアート・ワークショップ」(高知県本山町)

本山町農業公社の依頼により、品種の違う稲を植えて水田に模様を描く「田んぼアート」のデザインを制作。さらに、実際に田植えに参加したほか、田んぼに飾るかかしを地元小学生とつくるワークショップを実施しました。つくったかかしは20体。

かかしづくりには自信があります(笑)



こんなところに DESIGN!

「押しボタン君」(高知大学・正門前)

正門前にある押しボタン式信号機が、ほとんど使われていない点に着目。実際に調査を行い、通学時間の2時間でわずか3名しか押しボタンを押していないことから、交通安全キャンペーンを企画しました。かぶり物を制作し、秋の交通安全週間に合わせてビラやティッシュを配ります。

低予算企画で、かぶり物も段ボール製です



今年はデザインを刷新

「ノートを2万冊つくって被災地に送ろうプロジェクト」(福島県いわき市)

印刷会社から不要な紙を提供してもらい、ゼミの学生がデザインしたノートを制作。手折りで製本するボランティアには、ゼミ内だけでなく、多くの高知大生が参加しています。昨年度1万冊、今年はさらに1万冊を送る予定です。

先生に聞きました!

人文社会科学系 教育学部門 准教授

よし おか かず ひろ

吉岡 一洋
昭和49年、徳島県徳島市生まれ。大阪芸術大学芸術学部卒業、鳴門教育大学大学院学校教育研究科修了。現在、高知大学教育学部准教授。冊子「高知大学概要」の装丁は先生の作品。「若い時のいろいろな経験は、決して無駄にはなりません。遠回りした人のほうが人間性に厚みが出るものです」

DESIGN!

ひとつでも多くデザインに取り組む

ズラリと並ぶMacを駆使して制作するのは、ポスター?企画書?その一方で、ある時はワラが散乱する中にかかしが並び、またある時は段ボールをかぶった奇妙な人たちが歩き回る…。こんな摩訶不思議、混沌とした空間はデザインゼミの研究室。高知大学でデザインを学ぶ学生たちが集います。

「教育学部では美術教育の一部として、デザインに関する基礎、応用、専門の3コマの講義があります。しかし、デザイン力をつけるには、作品づく

デザイン力を深める

PICK UP LECTURE
まなびの時間
高知大学の講義・研究

ゼミは月1回、テーマを決めての作品制作と講評を行います。ゼミの運営は学生自身。取り組むべきテーマは、4月当初に吉岡先生が1年間分をまとめて提示しますが、それをどのような順番で、どのように取り組んでいくのかは、学生が主体的に決めていきます。ポスターや本の装丁など、課題の内容はさまざま。リニューアルした大学の学食をテーマに、宣伝ツールをつくるという課題もありました。出

来上がった作品は5分程度

ゼミのテーマのなかにはユニークなものも。例えば、先日はボーリング大会の企画・運営に取り組みました。会場の準備や告知、参加者の動員など、イベント企画・運営の難しさを学生

「社会人になれば、多かれ少なかれ、行事の運営を任される場面が出てきます。参加者を募ったり、司会をしたり、大学での経験が、きっと卒業してから役に立つと思うと思います。大学ならば、たとえ失敗しても教員がフォローできます。経験を積み重ねることにより、社会で活躍できる人材に育っていくんですよ」と、実社会で役に立つ力を養うことにも腐心します。

さらに、これらの経験はデザイン力の向上にも結び付く、と吉岡先生は話します。

「イベントの企画や運営には

教育学部生涯教育課程 芸術文化コースデザインゼミ

のプレゼン

で講評しあいます。デザイン面での批評もあれば、企画内容やキャッチコピーにまで広がることもあるといいます。

「作品制作に取り組めば取り組みほど、デザイン力が養われます。できるだけたくさん作品をつくる、その場がゼミなんです」

社会で活躍できる人間に

「社会人になれば、多かれ少なかれ、行事の運営を任される場面が出てきます。参加者を募ったり、司会をしたり、大学での経験が、きっと卒業してから役に立つと思うと思います。大学ならば、たとえ失敗しても教員がフォローできます。経験を積み重ねることにより、社会で活躍できる人材に育っていくんですよ」と、実社会で役に立つ力を養うことにも腐心します。



スタート直後。序盤は順調だが…。

高知大学の名物 イベント「室戸貫歩」

高知大学には、今年52回目を迎える名物イベントがあります。朝食キャンパスから室戸岬の中岡慎太郎像まで、夜を徹して歩く「室戸貫歩」です。その距離は約90キロ！

朝9時にスタートして、参加者は思い思いのペースで二路東へ向かいます。部活のユニフォームを着ている集団もいれば、羽織袴や着ぐるみで歩く人も。1等を目指して走る者、帰りも徒歩という猛者もいます。

最初は、昭和36年に空手道部が心身の鍛錬を目的に始めたもの。それ

全
90キロ

がいつしか部員以外の学生が加わり、さらに大学関係者、地域の方々、最近では県外からも多数参加するようになりました。今では約500名が参加する大イベントに成長、晩秋の風

物詩としてすっかりおなじみの行事となっています。

室戸貫歩

90キロの道のりが繋ぐ
地域との絆

参加者募集!!



90キロの道のりは自分との戦い。

テレビの取材に笑顔で答える学生たち



約20キロ地点まだまだ余裕?



夜須にて。疲労もいよいよピークに??



ついにゴール!! 室戸で見る朝焼けは格別

GOAL!

地域に
支えられて
一歩一歩

大きなイベントなので、運営するのも大変。空手道部はもちろん、部外の学生や大学の教職員らが裏方となり、地域の方々もボランティアで支えてくれています。休憩場所の確保や食事の準備のほか、街頭のない暗い夜道でガイドをしたり、歩き終わった人のサポート

自分の足で
大きな達成感!

室戸貫歩の魅力は何でしょうか？学生のなかには「大学時代に1回は無茶をしておきたい」という理由から参加する人が少なくないとか。また、就職活動の一環として、採用担当者に意志の強さをアピールするために参加する学生もいるそうです。

動機はともあれ、ゴールの時はみんな笑顔で、すがすがしい表情を浮かべています。ああもうダメかも、と思いつつも、あと二歩、もうあと二歩……。仲間と励まし合って、90キロを歩き切った感慨はひとしおのようです。

今年の室戸貫歩は11月23日に開催。あなたも参加して、かけがえない達成感を味わってみませんか？

第52回 室戸貫歩のご案内

日時:11月23日(金) AM7:30 集合(雨天決行)
AM8:30 開会式
AM9:00 出発
日時:11月24日(土) PM3:00 最終到着期限

集合場所:高知大学メディアの森前(朝倉キャンパス内)
コース:国道33号線から55号線を通り室戸岬へ向かう
ゴール:室戸岬(中岡慎太郎像の前の広場)
参加料:1,000円(参加賞・タオル・保険料を含む)

事前の申込が必要です。詳細については、近日中にホームページのイベント欄に掲載しますので、そちらをご覧ください。
<http://www.kochi-u.ac.jp/>

みなさん
ぜひご参加を!



「いま空手道部は室戸貫歩を裏方として支えています。事前に参加要項の作成や地域への挨拶回りを行い、当日はゴール地点で記録を測ったり、温かいあめ湯を配ったりします。大切にしているのは、先輩から受け継いできた伝統を守り続けること。今後も空手道部と室戸貫歩を存続させることを誓います!」

高知大学の空手道部員
栗田 健吉さん

今年も全力で
サポートを!



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」のシミュレーター

低侵襲手術教育・トレーニングセンター

レジデントハウス「南風」



若手医師の教育の場、いっそう充実!

先端の医療技術の
習得をサポート

医療現場で活躍するために、膨大な知識とともに高い技術の習得が求められる研修医たち。今年3月28日に完成したレジデントハウス「南風」は、そんな研修医などの若手医師をサポートするための施設です。高知県地域医療再生計画に基づき、高知大学だけでなく、県内医療機関の研修医などの教育・研修環境の充実を目的として医学部敷地内に建設されました。鉄筋コンクリート5階建てで、1階が教育研修施設、2〜5階に研修医向けの居住スペースが設けられています。

教育研修施設は、医学部生の基本的診療技能実習などが行えるスキルスラボと、低侵襲手術教育・トレーニングセンターが設置されています。

「低侵襲手術」とは、内視鏡手術をはじめとする患者さんの負担を軽減する手術方法のこと。センターには、内視鏡



「ダ・ヴィンチ」のシミュレーター

「低侵襲手術」とは、内視鏡手術をはじめとする患者さんの負担を軽減する手術方法のこと。センターには、内視鏡手術を行う最先端の医療機器。通常の内視鏡手術が器具を直接操作するのに対して、患者さんから離れた場所ので3次元映像を見ながら器具を遠隔操作します。手ぶれ防止機能などを備え、ミリ単位の作業の正確な実施を可能にしています。シミュレーターで操作方法を学ぼうと、研修医はもちろん、現場の医師たちもセンターに「自主トレ」に訪れています。

先端の医療技術を気軽に練習できる施設の誕生で、若手医師の成長を支える環境が充実しました。



腹腔鏡下手術のシミュレーター

「若手医師の技術向上に
どんどん活用します」

低侵襲手術教育・
トレーニングセンター長
小林道也教授

医療学系 臨床医学部門 教授
医学部附属病院
がん治療センター部長
こ ばやし みちや
小林 道也
高知大学医学部(旧・高知医科大学)、および同大学院卒業。医学博士。内視鏡手術の第一人者として診療、講演、学会、セミナーなど忙しい日々を送っています。

「内視鏡手術は、患者さんの負担が少なく、手術創も最小限、術後の回復も早いことから、さまざまな外科的治療で用いられています。しかし、腹部に差し込んだカメラで撮影した2次元画像を見ながら器具を操作しなければならぬので、遠近感など独特の感覚の習得を必要とします。そのためにはトレーニング機器を使った訓練が欠かせません。とくにこれから経験を積みまなければならない研修医や若手医師にとっては、スキルアップにつながる大切な練習です。また、「ダ・ヴィンチ」という最先端の医療機器について学ぶことができるという環境になったのも、研修医にとっていい勉強になるでしょう。患者さんに安心して手術を受けてもらうため、現場で活躍できる医師の育成にセンターは大きな役割を担っています」

高度な対応能力を 持つ薬剤師を育てる

高知大学医学部は、8月6日、徳島文理大学薬学部と「薬学教育と研究に関する連携協定」を締結しました。

今日、医療技術の進歩とともに薬物療法の高度化、また、高齢化の加速に伴い医療需要が増大する中、医師の負担軽減、医療の質の向上および医療安全確保の観点から、薬剤師には、チーム医療に積極的に参加すること、また、高い対応能力・探求研究能力が求められています。

これら社会的要請を受け、平成18年に学校教育法が改正され、質の高い薬剤師を育成するための課程は、修業年限が6年となり、平成24年より臨床教育経験を有した6年制薬剤師が輩出されました。

しかし、一方では、全国的に医師、薬剤師等の医療従事者の地域偏在・職域偏在がすすみ、高知県でも医療スツップの確保等に苦慮し、是正すべき課題となっています。

医学部・薬学部における教育、研究は、一大学単独ではなく、複数の大学が連携し対応していく「大学間連携共同教育推進事業」が必要とされ、国も推進しています。今回の協定の締結により、両大学の医学教育、薬学教育における研究水準の充実と発展、さらに医師の負担軽減・薬剤師の確保等が期待されます。



担当、医療の質の向上および医療安全確保の観点から、薬剤師には、チーム医療に積極的に参加すること、また、高い対応能力・探求研究能力が求められています。

これら社会的要請を受け、平成18年に学校教育法が改正され、質の高い薬剤師を育成するための課程は、修業年限が6年となり、平成24年より臨床教育経験を有した6年制薬剤師が輩出されました。

しかし、一方では、全国的に医師、薬剤師等の医療従事者の地域偏在・職域偏在がすすみ、高知県でも医療スツップの確保等に苦慮し、是正すべき課題となっています。

医学部・薬学部における教育、研究は、一大学単独ではなく、複数の大学が連携し対応していく「大学間連携共同教育推進事業」が必要とされ、国も推進しています。今回の協定の締結により、両大学の医学教育、薬学教育における研究水準の充実と発展、さらに医師の負担軽減・薬剤師の確保等が期待されます。



日本生物環境工学会において 「50周年記念貢献賞」を受賞



**農学部門の
石川勝美教授が
歴史ある学会で受賞**

農学部門石川勝美教授が、日本生物環境工学会より「生物環境調節ならびに植物工場に関して」の研究が評価され、50年の歴史をもつ日本生物環境工学会ならびに関連学術分野の発展に絶大な寄与をされたことにより、50周年記念貢献賞を受賞しました。



開発途上国の 自立的発展を目指す

高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設では、独立行政法人国際協力機構（JICA）から委託を受け、開発途上国の自立的発展に資することを目的に、これまで25年間にわたり集団研修事業に漁業訓練コースを提供しています。

本年度は、インドネシア、ナミビア、ペルー、セントクリストファー・ネイビス、スリランカの5カ国から合計7名の政府等機関の職員を研修員として迎え、「海域における水産資源の管理及び培養」コースを開講しています。研修期間は7月17日から10月26日までの予定です。

JICA 集団研修員7名 受け入れ研修を実施

高知大学同窓会で 村木厚子氏が記念講演



村木 厚子 (むらき あつこ)
昭和53年、高知大学文理学部経済学科卒業。現職は厚生労働省社会・援護局長。

**体験談を交えながら
社会福祉を解説**

9月1日、高知大卒業生・村木厚子氏が高知大学南浜会（文理、人文、理学部同窓会）に講師として招かれ、「支えること、支えられること」と題して記念講演を行いました。講演は村木氏が長年手がけてこられた社会福祉政策などを中心に、障害者問題や子育て対策等について、表や図を用いてわかりやすく解説。また、「ご自身に起こった突然の事件について、「一晩にして支える側から、支えられる側になった」と、ユーモアを交えて秘話を披露、集まった多くの同窓生らは村木氏の講演に熱心に聴き入っていました。本年9月より厚生労働省社会・援護局長に就任。



高知大学サッカー部 10年連続天皇杯選手権出場



**サッカーの日本一を
争う天皇杯!!**

高知大学サッカー部は、高知県予選大会を勝ち抜き、第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会に10年連続17回目の出場を果たしました。天皇杯は、1921年に開始された日本最大のサッカーのカップ戦であり、サッカー日本一を争う大会です。9月2日に春野陸上競技場で1回戦のソニー仙台FC戦が行われ、高知大学は0対1で惜敗しました。

エコチルの お知らせ!



- 対象地区**
- ・高知市
 - ・南国市
 - ・香南市
 - ・香美市
 - ・宿毛市
 - ・土佐清水市
 - ・四万十市
 - ・梶原町
 - ・黒潮町
 - ・大月町
 - ・三原村

■エコチル調査コールセンター TEL.0120-53-5252(9時~21時)
■環境省のエコチルHP <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>
■高知ユニットセンター TEL.088-880-2173(土・日・祝日のぞく9時~17時) <http://kochi-ecochil.jp/>



森沢育美さんが 全国中学校体育大会で優勝

**高知県初の快挙!
水泳女子高飛び込み優勝**

高知大学附属中学校3年森沢育美さんが、全国中学校体育大会の水泳で、高知県では初めて『女子高飛び込み』で優勝を果たしました。森沢さんは予選を1位で通過、決勝では高得点(361・15点)をマークしました。

高知大学
附属
中学校



理学部門 奈良正和 准教授 日本古生物学会学術賞受賞



古生物学界の中で最も 権威のある賞を受賞

日本古生物学会2012年年会において、自然科学系理学部門奈良正和准教授が、本邦の古生物学界のなかで最も権威ある賞の一つ、日本古生物学会学術賞を受賞しました。これは、同准教授が浅海域の生痕化石の研究について独創的観点から発展させてきたことが評価されての受賞です。

高知大学の情報交流の場

THEこうち ユニバーシティ CLUB 会員募集中!!

会費無料

THEこうちユニバーシティCLUBとは?

高知大学の様々な情報が
タイムリーに届く交流の場です。

高知大学の教育・研究・地域貢献など大学の動きが分かる他、興味のある分野を登録すれば、欲しい情報が届きます。皆様のご入会をお待ちしています。

お問い合わせ先

国立大学法人高知大学 総務部総務課
TEL.088-844-8640/088-844-8116
E-mail: club@kochi-u.ac.jp
高知大学ホームページ▶<http://www.kochi-u.ac.jp/>